

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年10月26日公表

平成18年産水稻の作付面積及び予想収穫量（九州） （10月15日現在）

- 水稻の作付面積は前年産並み、作況指数は78の見込み -

【調査結果の概要】

- 九州における平成18年産水稻の作付面積（青刈り面積を除く）は20万200haで、前年産並みとなりました。
- 水稻の作柄は、9月中旬に上陸した台風第13号による潮風害の被害に加え、登熟期前半の日照不足及び台風通過後が少雨となった影響から登熟不良となり、10a当たり収量は390kgの作況指数78が見込まれます。
- この結果、予想収穫量は78万400tで、前年産に比べ17万9,100t（19%）の減少が見込まれます。

図1 水稻の作柄表示地帯別作況指数

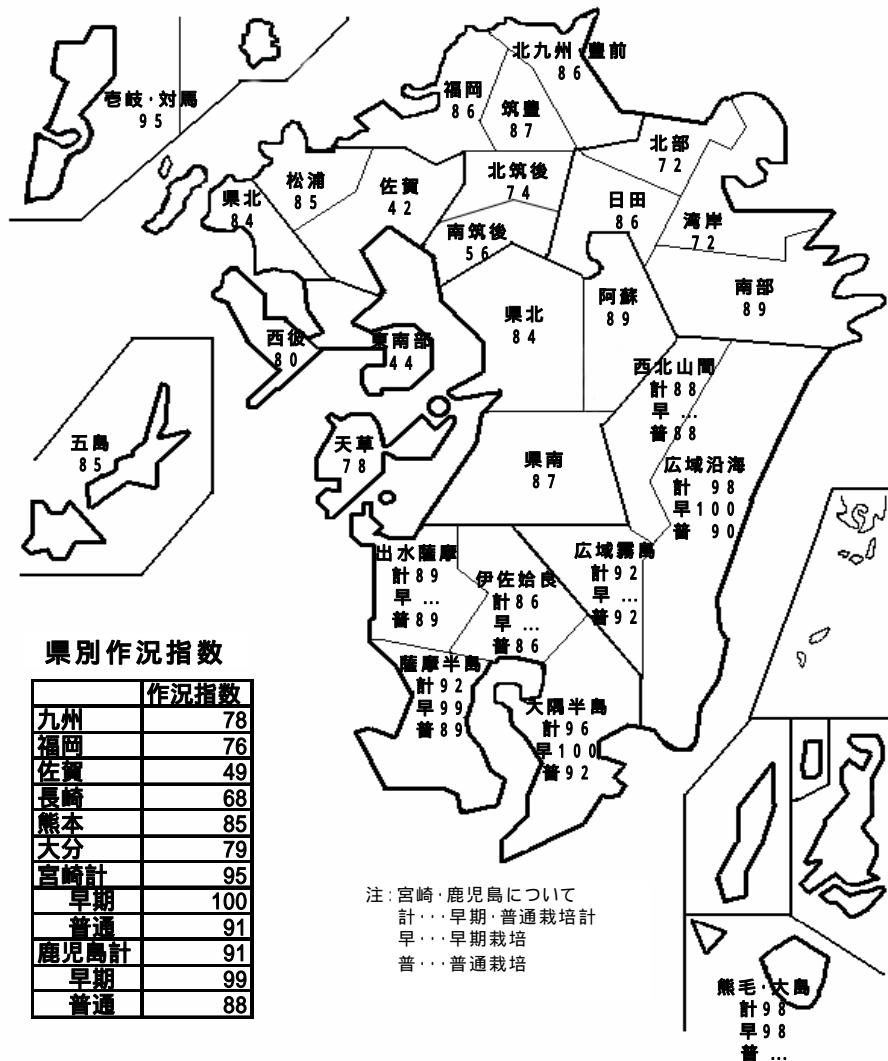


表1 平成18年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

区 分	作付面積 (青刈り面積を除く)		10a当たり 収 量	10a当たり 平年収量	作況 指数	予想収穫量
	ha	対前年差 ha				
九州計	200 200	2100	390	502	78	780 400
福岡	41 200	400	382	501	76	157 400
佐賀	29 000	500	262	530	49	76 000
長崎	14 700	0	322	474	68	47 300
熊本	42 000	600	440	515	85	184 800
大分	26 200	0	395	503	79	103 500
宮崎	21 500	300	465	491	95	100 000
早期	9 340	30	472	470	100	44 100
普通	12 100	400	460	507	91	55 700
鹿児島	25 600	200	435	479	91	111 400
早期	6 340	20	435	439	99	27 600
普通	19 300	200	435	492	88	84 000

本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】6Pに掲載しています。

【解 説】

1 作付面積

水稻作付面積(青刈り面積を除く)は20万200haで、前年産並みとなりました。

2 作柄概況

(1) 早期栽培水稻(主産県:宮崎・鹿児島)

作柄は、宮崎が作況指数100、鹿児島が同99となりました。

これは、全もみ数、登熟及び被害が総じて平年並みとなったためです。

(2) 普通栽培水稻

全もみ数は、日照不足の影響で各県ともに少ないないしやや少なくなりました。

登熟は、台風第10、13号の襲来による被害の発生に加え、登熟期前半の日照不足及び台風通過後の少雨の影響により著しく阻害されたため不良が見込まれます。

このことから、九州における水稻の10a当たり収量は390kgの作況指数78が見込まれます。

県別(早期栽培を含む)の作況指数は、福岡76、佐賀49、長崎68、熊本85、大分79、宮崎95、鹿児島91が見込まれます。

3 被害概況

早期栽培では、梅雨期の降雨による倒伏やカメムシの発生がみられましたが、総じて平年並みとなりました。

普通栽培では、台風第10、13号の影響による潮風害、もみずれ、葉先の裂傷及び倒伏等の被害が発生しました。

特に、台風第13号による潮風害は、福岡、佐賀及び長崎の沿岸部を中心に広範囲で登熟障害が発生し、甚大な被害となりました。

また、田植期から7月中旬及び登熟期前半に日照不足の被害が発生しました。

表2 平成18年産普通栽培水稻の県別作柄概況(10月15日現在)

区 分	刈 取 期					穂 数 の 多 少	一 穂 も 当 み た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否	刈 取 済 面 積 割 合
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較						
				平年 比較	前年 比較					
	月 日	月 日	月 日							
福 岡	8.28	10.4	...	並み	2日遅	少ない	やや多い	少ない	不良	88
福 岡	8.24	10.8	10.15	4日早	2日早	少ない	やや多い	少ない	不良	95
北九州・豊前	8.25	9.20	...	並み	3日遅	少ない	平年並み	少ない	平年並み	94
筑 豊	8.20	9.23	...	1日遅	5日遅	少ない	やや多い	少ない	やや不良	92
北筑後	9.23	10.12	...	並み	2日遅	少ない	やや多い	少ない	不良	84
南筑後	9.21	10.9	...	3日早	1日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	不良	80
佐 賀	8.31	10.8	...	1日早	並み	少ない	平年並み	少ない	不良	72
佐 賀	9.18	10.9	...	1日早	並み	少ない	やや少ない	少ない	不良	66
松 浦	8.22	9.26	10.15	1日遅	3日遅	少ない	平年並み	少ない	やや不良	95
長 崎	8.23	10.8	...	並み	並み	少ない	平年並み	少ない	不良	82
西 彼	9.23	9.28	10.9	1日遅	3日遅	少ない	多い	少ない	不良	99
東南部	10.1	10.13	...	1日早	2日早	やや少ない	やや少ない	少ない	不良	70
県 北	8.21	10.9	...	並み	1日遅	少ない	やや多い	少ない	不良	87
五 島	8.17	9.23	10.5	5日早	2日早	少ない	やや多い	少ない	不良	100
壱岐・対馬	8.26	9.28	...	3日遅	4日遅	少ない	多い	平年並み	不良	94
熊 本	8.19	10.6	...	並み	1日遅	やや少ない	やや少ない	やや少ない	不良	70
県 北	9.25	10.14	...	1日遅	2日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	不良	60
阿 蘇	9.15	9.25	...	2日遅	並み	少ない	やや少ない	少ない	平年並み	93
県 南	9.12	10.10	...	1日早	1日遅	やや少ない	平年並み	やや少ない	不良	67
天 草	8.6	8.10	10.10	2日遅	2日遅	やや少ない	平年並み	平年並み	不良	97
大 分	9.14	10.13	...	2日早	3日遅	少ない	やや多い	少ない	不良	56
北 部	9.16	少ない	やや多い	少ない	不良	45
湾 岸	9.13	10.15	...	並み	3日遅	少ない	平年並み	少ない	不良	53
南 部	9.9	10.11	...	1日早	2日遅	少ない	やや多い	やや少ない	不良	62
日 田	9.19	9.30	...	4日早	7日遅	少ない	多い	やや少ない	不良	82
宮 崎										
早 期	7.29	8.3	8.10	6日遅	6日遅	やや少ない	多い	平年並み	平年並み	100
広域沿海	7.29	8.3	8.10	6日遅	6日遅	やや少ない	多い	平年並み	平年並み	100
普 通	10.1	10.14	...	1日遅	2日遅	少ない	やや多い	少ない	平年並み	62
広域沿海	9.24	10.9	...	1日遅	1日遅	少ない	やや多い	少ない	やや不良	86
広域霧島	10.4	少ない	やや多い	少ない	平年並み	47
西北山間	9.26	10.7	...	1日遅	5日遅	少ない	平年並み	少ない	やや良	84
鹿 児 島										
早 期	7.26	8.2	8.11	5日遅	2日遅	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	100
薩摩半島	7.27	8.2	8.8	5日遅	1日早	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	100
大隅半島	7.28	8.5	8.15	6日遅	4日遅	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	100
熊毛・大島	7.16	7.21	7.30	2日遅	2日遅	少ない	やや少ない	少ない	良	100
普 通	10.5	10.14	...	1日遅	1日遅	少ない	平年並み	少ない	やや不良	62
薩摩半島	10.1	10.9	...	1日早	並み	少ない	やや少ない	少ない	やや不良	92
出水薩摩	10.5	10.14	...	並み	並み	やや少ない	平年並み	少ない	やや不良	57
伊佐始良	10.7	少ない	平年並み	少ない	不良	38
大隅半島	9.30	10.8	...	2日遅	並み	少ない	やや多い	少ない	やや不良	92

参考1 平成18年産水稻の作柄表示地帯別の作況指数（10月15日現在）

区 分	作況指数	区 分	作況指数
福 岡	76	宮 崎	95
福 岡	86	広域沿海	98
北九州・豊前	86	広域霧島	92
筑 豊	87	西北山間	88
北筑後	74	早 期	100
南筑後	56	広域沿海	100
佐 賀	49	普 通	91
佐 賀	42	広域沿海	90
松 浦	85	広域霧島	92
長 崎	68	西北山間	88
西 彼	80	鹿 児 島	91
東南部	44	薩摩半島	92
県 北	84	出水薩摩	89
五 島	85	伊佐始良	86
壱岐・対馬	95	大隅半島	96
熊 本	85	熊毛・大島	98
県 北	84	早 期	99
阿 蘇	89	薩摩半島	99
県 南	87	大隅半島	100
天 草	78	熊毛・大島	98
大 分	79	普 通	88
北 部	72	薩摩半島	89
湾 岸	72	出水薩摩	89
南 部	89	伊佐始良	86
日 田	86	大隅半島	92

参考2 平成18年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a 当たり収量内訳（概数値）

この調査における収穫量は、「飯用に供し得る米」として原則として目幅1.70mmのふるい目を用い選別した玄米の量としています。一方、農家等が選別に用いるふるい目幅は産地、品種等により異なります。

参考までに刈取済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合と、10a当たり収量内訳の調査が完了したものについて集計して概数値を示すと次のとおりです。

単 位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント
収量内訳：kg

農 業 地 域	区 分	合 計	ふ る い 目 幅					
			2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
九 州	重量割合	100.0	46.9	32.9	9.1	5.7	3.3	2.1
	本年値							
	平均対差		10.2	4.2	2.8	1.9	0.8	0.5
	(収量内訳)	(390)	(183)	(311)	(347)	(369)	(382)	(390)
福 岡	重量割合	100.0	49.7	30.5	9.3	5.4	2.8	2.3
	本年値							
	平均対差		7.8	2.1	2.9	1.6	0.6	0.6
	(収量内訳)	(382)	(190)	(306)	(342)	(363)	(373)	(382)
佐 賀	重量割合	100.0	41.2	29.0	12.9	10.3	3.9	2.7
	本年値							
	平均対差		18.0	3.0	7.0	5.9	1.2	0.9
	(収量内訳)	(262)	(108)	(184)	(218)	(245)	(255)	(262)
長 崎	重量割合	100.0	40.7	35.6	9.5	7.5	4.3	2.4
	本年値							
	平均対差		13.4	5.5	2.5	3.4	1.5	0.5
	(収量内訳)	(322)	(131)	(246)	(276)	(300)	(314)	(322)
熊 本	重量割合	100.0	45.2	35.6	8.8	4.8	3.4	2.2
	本年値							
	平均対差		13.5	7.5	3.1	1.4	1.0	0.5
	(収量内訳)	(440)	(199)	(356)	(394)	(415)	(430)	(440)
大 分	重量割合	100.0	41.3	34.1	10.7	6.9	4.8	2.2
	本年値							
	平均対差		14.8	5.4	3.4	3.5	1.6	0.9
	(収量内訳)	(395)	(163)	(298)	(340)	(367)	(386)	(395)
宮 崎	重量割合	100.0	57.1	29.6	6.1	3.7	2.1	1.4
	本年値							
	平均対差		1.4	1.9	0.0	0.5	0.2	0.2
	(収量内訳)	(465)	(266)	(403)	(432)	(449)	(458)	(465)
鹿 児 島	重量割合	100.0	48.1	35.5	7.6	4.3	2.5	2.0
	本年値							
	平均対差		7.5	5.5	1.5	0.1	0.1	0.5
	(収量内訳)	(435)	(209)	(364)	(397)	(415)	(426)	(435)

注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値です。

2 (収量内訳)の合計は、10a当たり収量です。

3 台風等により、未熟粒・被害粒等の混入が多く、農産物検査規定三等に達しない場合は、標本筆で再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況、予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

3 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。
- (2) 予想収穫量調査
調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。

4 調査客体数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：5,790単位区 巡回・見積り：261市町村
- (2) 作柄概況調査
作況標本筆：1,395筆 作況基準筆：234筆 巡回・見積り：261市町村

5 用語の解説

「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」及び「全もみ数の多少」は、それぞれ「1㎡当りに出穂したすべての穂の数」、「1穂についているすべてのもみの平均数」及び「1㎡当たりのすべてのもみ数」が平年と比較して多いか少ないかを5段階で表しています。

「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを5段階で表しています。

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

6 利用上の注意

予想収穫量調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行っていますが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については、気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ> 農林水産情報> 農林水産統計

http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4753・4754

直通電話： 096-353-7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4723

直通電話： 096-353-7556